



函館市議会議員 無所属

# 荒木あけみ

## ニュースレター

第9-10合併号 / 2017年1月15日 / 発行責任者 荒木明美

## 荒木あけみ、2017年も市民目線で活動します！

荒木あけみ、今年の5月から函館市議会議員として3年目に入ります。昨年も、年4回の市議会定例会では毎回一般質問(60分)を行いました。今年も市民の皆様の声を届けるべく、議会や日々の議員活動に邁進してまいります。

昨年のニュースレターにも挙げましたが、公職選挙法により議員は年賀状、寒中見舞等のあいさつ状を出すことが禁じられております。それにより、新年のご挨拶をお送りできませんこと、ご理解いただけますと幸いです。但し、頂戴した年賀状に対して自筆で答礼することは禁じられておりませんので、頂きましたら、一枚ずつ直筆で返信させていただきます。

さて、昨年は2年目に入りましたので、議会の流れや年間どのような日程で進んでいくのか、議員活動をする上で求められていること等について、自分なりにつかめるようになってまいりました。そして、2年目のテーマは『財務』とし、財務に関係するセミナーの受講や一般質問で取り上げるなどして、公会計や地方財政に触れてきました。財務は市政をきちんと理解する上での礎と考えております。今年も引き続き、その理解を深めるべく、財務を学び調査してまいります。

加えて、子どもの貧困、行財政改革、産業振興、コンパクトシティ、、さまざまな課題があります。共生できるコミュニティ、経済的活気、食・環境を含めた安心・安全なまちづくり と議員になる前に掲げたテーマを追求すると共に、函館がずっと“生き残る街”になるよう、皆様と一緒に考えていきたいと思っております。

今年は、3年目に入ると同時に、任期4年のうちの折り返し地点を迎えます。この2年を振り返り、反省すると同時に、残りの2年間も投票いただいた方々が、荒木あけみに投じて良かったと感じていただける仕事を積み重ねていく所存です。ご支援よろしくお願いたします！



# 荒木あけみ 一般質問 (9/20 6 回目)

9月20日(火) 13:10～14:10、大綱5点について質問。  
詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



## 大綱 1 持ち主の見えない土地

荒木：持ち主の見えない土地について、問題の一つが固定資産税。そのような土地は、固定資産税の不納欠損につながり、相続未登記などで納税義務者である土地所有者の不明化が進むと、徴税漏れといった自治体の税務に支障が生じる。今後も増加すると考えられる相続人不存在の事案について、市としてはどのような認識を持ち、対策を考えているのか。

財務部：所有者の死亡により相続人が不存在となるケースは増加傾向にあり、固定資産税の税収面からも危惧している。また、資産が放置されるより新たに所有権が移転され、適切な納税に繋がることが必要。これらの対応について、市が直接、相続財産管理人の選任を申し立てるなど、費用対効果等も含めて研究する他、登記の任意性や諸経費の高額化の改善等、相続登記促進の環境整備に向けて関係機関へ要望することも検討する必要がある。

## 大綱 2 市立函館病院の経営評価と今後のビジョン

荒木：昨年度決算における一時借入金の増加についてどのように捉えているか。病院事業会計では赤字が発生している上に、日々の資金不足にも対応しなければならない。赤字が続くと、翌年度には解消すべき一時借入が先送りになり、理論上、黒字転換されない場合は借り換えの度にその額が増える。このままではさらに一時借入金が増加すると思われるが対応をどう考えているか。

病院局：一時借入金は、診療報酬改定等による経営悪化により単年度資金が不足し、平成27年度決算では40億円まで増大した。診療収益は、実際の診療から約2か月遅れて入金となるため、構造上、一時借入金が生じるが、平成27年度決算での40億円という規模は好ましいものではないと認識している。一時借入金の圧縮には、単年度赤字を早急に黒字へ転換させる必要があるが、その対策と具体的方策も含めて、今後策定する改革プランの中で整理する。

## 大綱 3 ごみの扱い（観光客排出のごみ）

荒木：キャンピングカー等で訪れた観光客がゴミを捨てられず困っている状況を聞いた。「おもてなし」の一環、また他都市の差別化ポイントとして、観光客が捨てられるゴミ箱を設置するなどの何らかの対応は考えられないか。

環境部：公衆ゴミ容器は、カラス等による散乱防止、持ち込みごみの投棄・不法投棄防止、街並みの美観や景観の保全等の理由で全国的に撤去傾向にある。本市も平成24年度で観光地やバス停等の公衆ゴミ容器を全て撤去した。この経過の中、新たな公衆ゴミ容器の設置は難しいが、日の出清掃工場では、ごみの重量に応じた手数料を納入いただければごみを処理することができる。

## 大綱 4 外国人観光客の利便向上

荒木：台湾からいらしたお客様から、両替の不便さについての声を聞いた。函館駅前と元町に観光案内所があるが、そちらに寄せられる外国人観光客の外貨両替に関する問い合わせ状況には、どのようなものがあるか。

観光部：観光案内所ではクルーズ船で来られた外国人観光客からの問い合わせが多く、両替可能な金融機関や日本円を引き出せるATMの有無や所在の案内を求められている。両替への対応は、金融機関等の営業時間が限られることから、休業日や営業時間外にも対応してほしいとの要望も寄せられている。

## 大綱 5 水道事業の危機管理と料金体系

荒木：以前住んでいた自治体では基本料金は日割り計算であった。市には累積の財源残額があり、順調な経営であるので市民サービス向上の意味でも、水道料金の基本料金を日割り制度を導入することはいかがか。

上下水道部：水道料金の基本料金は、水道の使用日数により、半月分又は1か月分を賦課しているが、かねてから分かりやすい制度として、基本料金を日割り制度が導入できないか検討してきた。他の公共料金も日割り制度が導入されていることも踏まえ、平成29年度からの実施に向け準備を進めている。

# 荒木あけみ 一般質問 (12/15 7 回目)

12月15日(木)13:40~14:40、大綱5点について質問。  
詳細は：検索サイトで「函館市議会議事録」を入力してください。



## 大綱 1 日本一の福祉のまちと人材確保

荒木：他産業分野との人材獲得競争が激化すると予想される中、介護業界の人材確保は、早急に継続的に取り組む課題。同業種内の、地域内の人材獲得競争にならない策が必要。Uターン、Iターン、函館の外で学んだ学生の就職支援のような函館独自の具体的な策がないのか、またそういう検討をしていないのか。

保健福祉部：北海道が実施する離職した介護人材の再就職支援や介護職を目指す学生に対する返還免除付修学資金等の貸付等の人材確保策が積極的に利用されるよう、周知・働きかけをしている。これまでも議会始め、介護の現場等からの指摘があったことから、どのようなことができるか検討している。

## 大綱 2 小中一貫教育

荒木：亀尾小中学校の小中併置校及び特認校としてのこれまでの成果をどのようにとらえているのか。

教育委員会：地域のご協力を得ながら栽培からそば打ちまでを行うそば学習や自然豊かな環境を生かした森林学習の他、和太鼓クラブの成果を神社で披露するなど、学校と地域、保護者が連携、特色ある教育活動を展開し児童生徒の豊かな心と健やかな体の育成に成果を上げていると捉えている。

## 大綱 3 ICT(情報技術)の利活用

### 1) オープンデータ、ビッグデータ

荒木：1年前の議会でこの大綱について質問をした。その際、市のデータのオープンデータ化を1年程度で進める方針を示された。その後、オープンデータ化の状況はどのようになっているか。

総務部：市HPに5000頁以上ある公開情報を国際的規格に基づいた自由に二次利用できる旨の明示を行った。HP上の直接記述情報やPDF形式の情報もデータ処理しやすい形式へ変換、約1400ものCSV形式のデータを公開。本年9月にCSVデータの一覧表等を掲載したポータルサイトを立ち上げた。

### 2) AI (人工知能)

荒木：日本再興戦略2016では「第4次産業革命における勝敗の鍵は、人工知能関連分野である」とある。AI(人工知能)を生かしたまちづくりについて、どのように考えているか。

企画部：人工知能は、自動運転技術等の産業面を始め、医療・介護分野等、様々な分野での活用が期待。一方、雇用に大きな影響を与える。人工知能の研究を進めているはこだて未来大学と連携を図りながらまちづくりにどのように活用できるか可能性を探っていく。

## 大綱 4 子どもの読解力向上

荒木：研究者が立ち上げた研究事業では協力する自治体を募るケースもある。教育委員会として函館の子どもの読解力向上に資するような研究に出くわした時、参加する意向はあるか。

教育委員会：「読解力」は学力向上を図る上で重要でと認識。今後アクティブラーニングの推進で読解力向上に取り組むとともに、大学や研究者による「読解力」の向上等に関する共同事業や共同研究等の要請等があった場合は、その目的、内容、参画するメリットや意義等を総合的に勘案し、その都度検討したい。

## 大綱 5 子どもの貧困対策における調査・施策

荒木：生活保護率や児童扶養手当受給率といった既存の指標の推移を踏まえると、市は「子どもの貧困に関して憂慮すべき状況にあるものと認識している」とのこと。子どもの貧困に関する市の課題はどこにあると考えているか。

こども未来部：来年度実施を検討中の、子どもの生活実態調査の結果に基づき、本市の現状や子どもの貧困対策の重要性等を明らかにする中で既存の施策・事業に係る評価・検証、必要な取り組みを検討し優先順位も勘案しながら効果的な施策展開を図りたい。

# 未来へつなぐ荒木あけみネット掲載写真より



青森市役所、青森県庁へ調査 (7/26)



台風 10 号の 3 日後、消防本部指令センター見学 (9/2)



荒木あけみと市役所ツアー(8/25)



函館野外劇 (港まつりシーン(右)にチーム荒木で出演)

五稜星の夢 電球設置



堀に沿って並ぶオンコ  
の上に電飾をかける荒木



経済建設常任委員会行政視察  
「作り育てる漁業」  
岩手県洋野町、広島市(10/6-8)



最後までお読みくださり、ありがとうございます。  
荒木あけみ後援会は、ニュースレターの封入・封緘  
作業等、ボランティアの方々に支えられております。  
発送作業や事務作業などお手伝いいただける方は、  
梓下の連絡先までお知らせください。 1～2 時間のお  
手伝い、自宅での作業など色々な関わり方があります。  
どうぞよろしくお願いいたします！



## ニュースレターの感想、市政へのご意見などお聞かせください！

郵送の方は → 〒040-0035 函館市松風町 17-10 未来へつなぐ荒木あけみネット

FAX の方は → 0138 (76) 3321 (荒木宛)

メールの方は → [araki.akemi@gmail.com](mailto:araki.akemi@gmail.com) (荒木)

荒木あけみホームページ : <http://www.arakiakemi.jp/>

未来へつなぐ荒木あけみネット Facebook ページ : <https://www.facebook.com/ARAKIAKEMInet>